

保証書

JAPAN AVE.

取扱説明書

保証書付き

お客様各位

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。お客様に本製品を正しくご使用いただいた状態で、自然故障した場合には、保証書規定に記載された期間であれば、修理・交換対応をさせていただきます。

万が一保証書を紛失した場合であっても、通販サイト経由で購入されたお客様の場合 ①購入店舗と ②注文番号がお分かりになれば保証対応が可能です。(注文履歴画面で確認可能です)

実店舗で購入されたお客様は納品書または領収書(レシート)を必ずお控えください。(納品書または領収書はスマホで撮影した画像でも保証を受け付けております)

保証規定

- (1) 保証期間はご購入日から1年間とします。
- (2) 商品本体部分のみが保証対象とし、付属品は対象外となります。
- (3) 次の場合は保証期間内であっても、有償修理となります。
 - ・使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障や損傷
 - ・保管上もしくは手入れの不備などによる故障や損傷

お買い上げ日

購入店

注文番号

お名前

ご住所、電話番号

GT85 /GT85-Sシリーズ

前後ドライブレコーダー

(前後フル HD 画質)

JAPAN AVE.

目次

- 2 - 目次
- 3 - 必ずお読みください
- 4 - パッケージ内容
- 5 - 推奨microSDカード
- 6 - 各部名称
- 7 - フロントカメラ仕様
- 8 - リアカメラ仕様
- 9 - フロントカメラとの接続方法
- 10 - 取り付け方法(配線方法)
- 11 - シガーソケット配線について
- 11 - 直接配線について
- 12 - 基本操作一覧
- 13 - 電源を入れる
- 14 - 録画スタート・一時停止
- 15 - LEDインジケータランプ表示
- 16 - 動画・画像のプレビュー方法
- 17 - 一般設定
- 21 - 写真撮影
- 22 - ADAS(先進運転支援システム)
- 23 - LDWS(車線逸脱警報装置)設定方法
- 24 - 専用スマホアプリ「CACAM for GT85」25
- 25 - SDフォルダの見方について
- 26 - よくある質問
- 27 - 免責事項

必ずお読みください

この度は、JAPAN AVE.(ジャパンアベニュー)製前後ドライブレコーダー(GT85)をお選びいただき誠にありがとうございます。安全にご使用いただくため、事前に以下の説明書をお読みください。

作業を始める前に

● 配線作業中は、ドライブレコーダーの本体電源を切る

製品故障の原因になりかねませんので、配線中は必ずドライブレコーダー本体の電源をお切りください。

● 本製品はドライブレコーダー専用ではありません

本製品はあくまで事故などの衝突があった場合の、証拠用として走行情報を録画記録するための機能をメインとし、観賞用としてキレイな動画を記録するためのものではありません。

取り付けについて

● 必ず付属の部品を指定通りに使用する

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を傷めたり、しっかりと固定できず外れたりして、事故や故障の原因になることがあります。

● エアバッグ装着車の場合、システムの作動に影響する位置に取り付けしないでください

エアバッグが正常に作動しないと、万一の時に、事故や怪我の原因となります。

● 本製品を次のような場所に取り付けしないでください

前方の視界を妨げる場所、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所、エアバッグシステムの作動に影響する場所、運転操作を妨げたり、外れたりしてケガや交通事故の原因となる場所。

結線の注意

● コード類は取り付け操作の指示に従い、運転操作の妨げにならないようまとめておく

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因になります。

● 接続コード類の配線は、高熱部を避けて行う

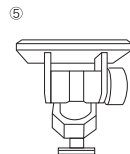
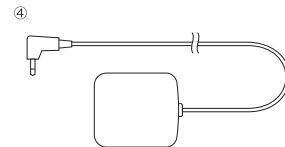
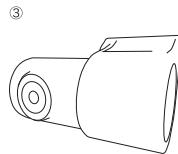
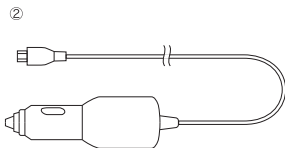
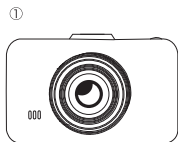
コード類が溶けてショートし、事故や火災の原因になります。

● 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります

パッケージ内容

- ① ドライブレコーダー本体 ×1
- ② 3.4mケーブル付きカーチャージャー(シガーソケット接続用 5V/2A) ×1
- ③ リアカメラケーブル付き (6.4m) ×1
- ④ GPSレコーダー ×1
- ⑤ シールマウント×1
- 日本語取扱説明書 ×1



推奨 microSD カード

- 最大256GBまで対応
- Class10以上のmicroSDカードをご使用ください
- SDカードを初期化してからお使いください

注 意

Class8以下のmicroSDカードを使用する場合、データの読み書きスピードが低下し、動画のプレビュー動作などが遅くなることがあります

重 要

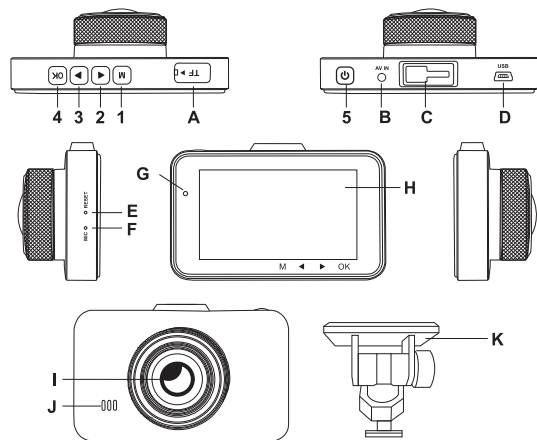
microSDカードの中にドラレコで録画した動画データ以外を入れないでください。

microSDカード内に、本製品でサポートしている形式のデータ (MP4、JPGなど) 以外のデータを入れて挿入すると、データが本製品内部のシステムに影響して以下の症状が表れることがあります。

- 電源ボタンを押しても電源が入らなくなる
- リセットボタンを押しても反応しなくなる
- 液晶に白い映像がでる

そのため、使用する際は必ずmicroSDカード内のデータがすべてフォーマット (=初期化) されている状態でご使用いただき、本製品で撮影された録画・画像データ以外のファイルを入れないようにしてください。

各部名称



- | | | |
|--------------|-----------------------|----------|
| 1 メニュー | A microSD (TF) カード挿入口 | G インジケータ |
| 2 ◀ボタン(上へ移動) | B リアカメラ接続 | H IPS液晶 |
| 3 ▶ボタン(下へ移動) | C ホルダー接続箇所 | I カメラレンズ |
| 4 OKボタン | D USB給電口 | J スピーカー |
| 5 電源ボタン | E リセット | K 粘着ホルダー |
| | F マイク | |

フロントカメラ仕様

カメラ/リアカメラ解像度	FullHD 1920×1080P (720P/ 1080P)
チップセット	Mstar 8339
イメージセンサー	SONY IMX307(STARVIS搭載)
最低照度	0.24lx
セルサイズ	2.90μm
エンコード	H264
ビデオファイル形式	MOV
写真形式	JPG
周波数	DUAL600MHz 32-bit RISC
RAM	8MB
液晶サイズ	3.0インチ
液晶	IPS液晶
液晶解像度	640*480
対角画角	170°
水平/垂直画角	115°/69°
Gセンサー	380B
使用時消費電力	4W
対応SDカード	4GB,8GB,16GB,32GB…最大256GB
電圧出力	DC 5V
耐久温度	-20℃~65℃
保管温度	-25℃~75℃
耐久気圧	960 hPa~1040 hPa
DVR	1080P,30FPS,HDビデオ
逆光補正	HDR / WDR
バッテリー容量	200mAh
リアカメラ駐車機能	リアカメラを接続した場合、バック駐車時にリアカメラ駐車機能が作動します。

リアカメラ仕様

製品情報	サイズ、重量	55×24×30mm、約30g
	動画解像度	1920×1080P/25fps
	イメージセンサー	SONY IMX307 (STARVIS搭載)
	逆光補正	HDR / WDR
	最低照度	0.24lx
	セルサイズ	2.90μm
レンズ	フレームレート	25fps/秒 (fpsは1秒間に録画する画像枚数のこと)
	ビデオ出力	AHD
	ホワイトバランス	自動
	対角画角	131.4°
	水平/垂直画角	106.8°/55.2°
	絞り値	F1.8
温度	焦点距離	f=2.9mm
	耐久温度・湿度	-20℃～85℃、最大湿度95% ※-21℃以下または86度以上の長時間使用はできません
電源	電源	DC4.5-5.5V
	電流	≦220mA

フロントカメラとの接続方法

前方カメラにリアカメラのケーブルを接続するだけですぐに前後カメラ接続ができます。
(基本的に電源供給はフロントカメラから行われます)

取付方法

リアカメラの取り付けシールを剥がして、車内後方ガラスに取り付けてください。

録画時の画面

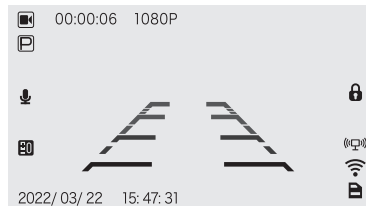
本体電源ON時は、画面右上にリアカメラ画面が表示されます。

本体「◀ボタン(左から2番目)」を押すと前後画面を入れ替えることができます。

表示方法は4パターン

- 大画面：フロント+小画面：リア (初期設定※リアカメラを接続した場合)
- 大画面：リア+小画面：フロント
- 全画面：フロントのみ
- 全画面：リアのみ

※赤いケーブルは後方ランプに配線すると、バック走行時に液晶にバック走行用ラインが表示されます。
(バック駐車時に便利な機能です)



取り付け方法（配線方法）

重 要 配線依頼前の注意点

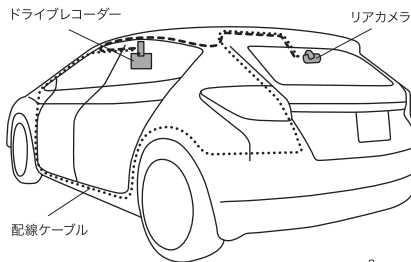
本製品の取付を業者に依頼する場合は、商品開封後必ずお持ちシガーソケットまたはご自宅の電源（付属のUSBケーブル使用）などから給電を行い、ドライブレコーダーが正しくご使用いただける状態が確認してから、最寄りのカーショップなどへ配線工事を依頼してください。

外部業者への配線依頼する場合、業者側の取付不備により製品に問題が生じる場合もございます。外部業者の取り付け後に製品不良が起きた場合はメーカー保証の対象外となりますので初期不良などがないか事前にご確認ください。

初期不良の例

- 電源供給最中にもかかわらず製品画面に「電力不足の表示」が出る場合（付属ケーブルの不良の可能性があります）
- 電源ボタンを押しても電源が入らない
- 推奨microSDカードを使用しているのに「認証エラー」の表示がでる

前後ドライブレコーダーの配線イメージ



- a - - - - 上から引き回す
b 下から引き回す

シガーソケット配線について

ドライブレコーダーの配線に関しては、30分程度のお時間でお客様ご自身で行うことも可能です。（ご自身で取り付けしない場合は、最寄りのカーショップなどへ配線を依頼することをオススメいたします。配線費用の目安：5,000～10,000円程度）



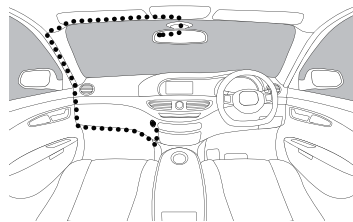
本体 USB給電口



3.4mケーブル付きカーチャージャー



シガーソケット



（GT85ドライブレコーダーをシガーソケットを使って配線した例）

直接配線について

別売りの直接配線ケーブル（型番：GTS1）を購入し直接配線をすることで、車上荒らし対策として駐車監視機能（駐車中に外部からの衝撃があった場合に自動で録画をスタートする機能）を使うことができます。

この配線方法ではヒューズボックスから電源をとり配線をする必要があるため車の知識がある方はDIY配線されますが、ご自身で行わない場合は最寄りのカーショップなど業者に配線依頼することをオススメします。

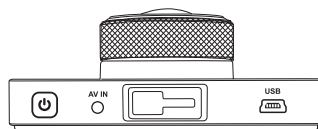
基本操作一覧

ドライブレコーダー本体の各種ボタンの操作について紹介します。

各ボタンの長押しまたは短押しによる画面操作の切り替えです。

① 電源ボタン	電源ON/OFF	押すと電源オン、長押しすると電源オフ
	スリープモード	作動中に押すとスリープモードになります
	メニュー	長押しすると、動画・画像をプレビューできるメディア画面に切り替わります。 ①待機中 →押すと一般設定メニューへ →長押しすると写真撮影モード →さらに長押しすると映像再生メニュー ※再度長押しすると待機画面に戻る ②録画中に押すとロックオン/オフ ③映像再生メニューで →設定したい映像に入り、一度OKボタンで再生を停止してから、Mボタンを押すとロック設定画面へ ※設定終了後再度Mボタンを押すと映像に戻り、さらに長押しすると再生メニューに戻る
	③◀ボタン	モニター画面切替 ● 大画面フロント、小画面リア ● 大画面リア、小画面フロント ● フロントカメラのみ表示 ● リアカメラのみ表示
	録音機能ON/OFF	長押しすると、録音機能オン/オフを切り替えられます
④▶ボタン	写真撮影	待機/撮影モード中に押すと写真撮影できます
⑤ OKボタン	録画開始/停止	録画をスタート/ストップします

電源を入れる



電源を入れる

ドラレコ本体上にある「電源ボタン」を押すと電源が入ります。

電源を切る

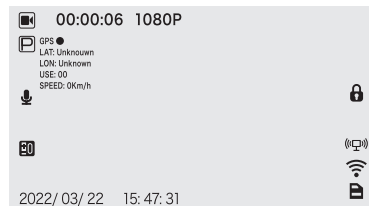
「電源ボタン」を3秒長押しすると、電源がオフになります。

自動録画スタート(エンジンON時)

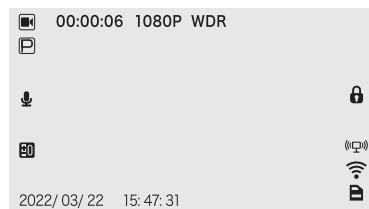
シガーソケットからドラレコを取り付けしている場合は、エンジンがONになると自動的に本体電源が入り、録画を開始します。

録画スタート・一時停止

録画中



録画停止



録画が開始されると、録画アイコンが赤くなり、横に録画時間が表示されます。
再度OKボタンを押すと録画を一時停止します。録画アイコンが通常色に戻ります。

録画中のボタン説明

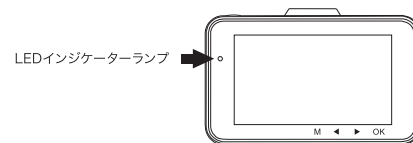
「OKボタン」：録画スタート/一時停止

「Mボタン」：録画をロックオン/オフ

「▶ボタン」：写真を撮影します

LEDインジケータースランプ表示

ドライブレコーダー左上のLEDインジケータースランプから動作状況を確認することができます。

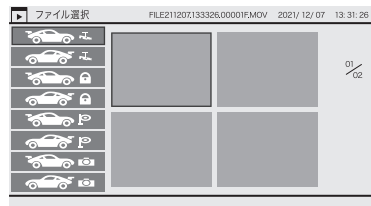


青と赤に交互に点滅	録画中 (給電中)
青点滅	録画中 (給電なし)
青点灯	電源オンの状態
赤点灯	給電中

動画・画像のプレビュー方法

ドラレコ本体から画像・動画をプレビューする操作方法について解説します。
メニューボタン(M)を長押しを2回すると、画像と動画の確認画面に入ります。

プレビュー画面



アイコン	再生	説明
	フロントカメラ常時録画	フロントカメラでの通常録画
	リアカメラ常時録画	リアカメラでの通常録画
	フロントカメラ緊急録画	フロントカメラで緊急録画(EMR)した録画
	リアカメラ緊急録画	リアカメラで緊急録画(EMR)した録画
	フロントカメラ駐車監視録画	フロントカメラ駐車監視時の録画
	リアカメラ駐車監視録画	リアカメラ駐車監視時の録画
	フロントカメラ写真撮影	フロントカメラで撮影した写真
	リアカメラ写真撮影	リアカメラで撮影した写真

一般設定 (1/3)

「M(=メニュー)」ボタンを押すと、各種設定ができる設定画面が表示されます。

オートパワーオフ機能	録画停止中に何も操作がなければ、自動的にドラレコの電源をオフにする機能です。 ● 0分(初期設定) ● 10秒 ● 5秒 ● 30秒
ループ録画	ループ録画を設定すると、SDカード内の空き容量が100%になった際、自動的に古い録画データを削除して、新しい録画データを自動的に上書き保存していきます。 「1セッション=1録画」あたりの録画時間を設定できます(推奨:3分) ● 1分 ● 5分 ● 3分(初期設定) ● オフ ※フロントカメラのみ設定可能です
解像度	フロントカメラの解像度を設定できます。 ● 1080P(初期設定) ● 720P
操作音	ドラレコ操作音の設定ができます。 ● ミュート(0) ● 1~10(MAX) ● 音量3(初期設定)
録音機能	録画中に音声を入れるかどうか設定できます。 ● オン(初期設定) ● オフ
日付/時刻設定	日付・時刻の設定ができます。 ● Y / M / D (Y=「年」M=「月」D=「日」) ※手動で日付時刻を設定しない場合でも「GPS機能」が有効になっている場合は、最長2時間後には位置情報から日時を自動的に取得して日付時刻を設定します。
言語	● 日本語(初期設定) ● ロシア語 ● 英語 ● フランス語 ● ドイツ語 ● 韓国語 ● イタリア語 ● タイ語 ● 中国語(簡体/繁体) ● ベトナム語など

周波数	お住まいの地域ごとに周波数を切り替えられます。西日本にお住まいの方は「60Hz」、東日本にお住まいの方は「50Hz」へ設定してください。 ● 60Hz ● 50Hz (初期設定)
スクリーンセーバー機能	録画中に一定時間経つと、液晶画面が消えて省エネモードになります (オフ設定にしていると、自動的に液晶が非表示になることはありません) ● オフ (初期設定) ● 30秒 ● 1分 ● 3分
Gセンサー設定	Gセンサーは「衝突感知レベル」を検出できるセンサーです。通常録画中であっても、設定したレベルに応じて衝突を検知すると、緊急録画 (EMR) され「緊急録画」ファイルの中に自動的に保存されます。 衝突感度 ● オフ ・ 低 ● 中 (初期設定) ● 高 緊急録画 (=EMR) 緊急録画が自動保存されると、緊急録画ファイルの中に自動的に保存されます。  ロックオンになっていると表示されます。
駐車録画機能	本体電源OFF時に外部から一定の衝撃を感知すると、自動的に録画をスタートし「駐車監視録画」ファイルの中に動画を保存します。(録画時間は20秒) ※録画終了後、ドラレコは自動的に電源オフします。 衝突感度 ● オフ ● 低 ● 中 (初期設定) ● 高  駐車モードがオンになっていると表示されます。 ※駐車モードがオフ時は表示されません。

重 要

最寄りのカーショップやDIYで常時電源供給できる直接配線を行うことで、車上荒らしや不審な動きがあった時にも24時間体制で自動録画させることができますようになります。

「駐車監視はしたいが車のバッテリー上がりが気になる」方は、モバイルバッテリーや大容量ポータブル電源などを車内にご準備いただければ車のバッテリー上がりを気にせず電源供給することも可能です。

※直接配線ではなくシガーソケット配線の場合は、ドライブレコーダー本体の内蔵バッテリー (200mAh) でスタンバイ時間 (= 本体電源OFF時の待機時間) は約20分となります。

動体検知機能	ドラレコ電源ON時にレンズ内で不審な動作を検知すると、自動的に録画を開始します。動きがなくなると自動的に録画を停止します。 ● 0分 (初期設定) ● 10秒 ● 5秒 ● 30秒  動体検知がオンになっていると表示されます。 ※動体検知がオフ時は表示されません。※毎回録画時間は20秒です。
デフォルト設定	ドラレコ本体の設定を初期化 (=工場出荷時) します。
Wi-Fi	WiFi接続でドラレコ専用アプリ「Cacam for GT85」との連携が可能になります。 ※ご使用になる場合は、各アプリストアから「Cacam for GT85」と検索、ダウンロードしてください。もしくは、APP QR Codeをお読みください。 ● オフ (初期設定) ● オン  オンの場合モニター画面に表れます。  オフの場合モニター画面に表れます。 ※WiFi接続パスワードは「12345678」です。 スマホ画面に表示される「GT85」から始めるWiFiに接続後、アプリを開いて接続できます。
SDカード初期化	SDカードを初期化します。

一般設定 (3/3)

LDWS	車線逸脱警報装置 車線を超えると警告が画面に表示され、警告音が作動します。 ● オン(初期設定) ● オフ
FCWS	前方衝突警報装置 走行中の前方車両との距離が10-50メートル内になると警告画面が表示されます。 さらに5-10メートル内になると警告画面に表示され、同時に警告音が鳴ります。 ● オン(初期設定) ● オフ
LDWS/FCWS調整	以下、「LDWS設定方法」をご確認ください。
APP QR code	専用スマホアプリ「CACAM for GT85」をご参照ください。
バージョン	ソフトウェアバージョン、Wi-Fi設定、パスワード情報

写真撮影

「M(=メニュー)」ボタンを1回長押しすると、写真撮影モードに入ります。
写真撮影モードで「M(=メニュー)」ボタンを押すと各種設定ができる設定画面が表示されます。

画像サイズ	写真撮影した画像サイズ ● 2M(初期設定) ● 1.2M
写真解像度	撮影した画像の解像度 ● スーパーファイン(初期設定) ● ファイン
連写撮影	連続写真撮影 ● 高速連続撮影(初期設定) ● 中速連続撮影 ● 低速連続撮影 ● オフ
露出補正	露出補正はカメラの撮像素子(イメージセンサー)に充てる光の量を調節し、 撮影する写真や映像の明るさをコントロールする機能です。 ● -2 ~ +2 (初期設定 0)
ISO感度	ISO感度は夜間などの暗い映像をどこまで記録出来るかを示しています。 ● 自動(初期設定) ● ISO100 ● ISO200 ● ISO400 ● ISO800 ● ISO1600 ● ISO3200

ADAS（先進運転支援システム）

ADAS(先進運転支援システム)とは、LDWS(車線逸脱警報装置)とFCWS(前方衝突警報装置)の機能です。

LDWS(車線逸脱警報装置)

車線を超えると警告が画面に表示され、警告音が作動します。

FCWS(前方衝突警報装置)

走行中の前方車両との距離が10-50メートル内になると警告画面が表示されます。

さらに5-10メートル内になると警告画面に表示され、同時に警告音が鳴ります。

LDWS（車線逸脱警報装置）設定方法

LDWS(車線逸脱警報装置)を設定します。

以下はより正確にLDWSを設定するための参考として設定環境の一例を提示していますが、安全上必ずしも以下の環境で設定する必要はありません。最初は走行イメージで設定を行い、実際にドライブしながら差異を確認し、駐車後LDWS設定を調整していくことをおすすめします。各自より安全な場所で設定をお願いいたします。

1. LDWS設定メニューに入ります(図1)
2. 地平線が見える道路へ移動し、画面に表示される水平の赤ラインと地平線を合わせてOKボタンを押します(①)。
緑三角形を車水平に合わせて、走行道路にある左右ラインをそれぞれ車道線と合わせて(②、③)OKボタンを押し設定完了になります(図2)。

図1

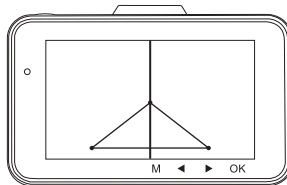
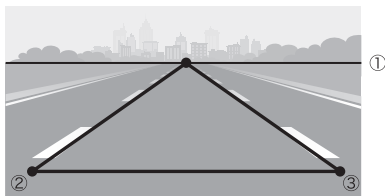


図2



専用スマホアプリ「CACAM for GT85」

本製品(GT85)には、JAPAN AVE.同社製スマートフォン専用アプリ「CACAM for GT85」が付属しています。

このアプリで使える主な機能は以下のとおりです。

アプリダウンロードページ

右記QRコードを読み取りしてください。

QRコードが読み取れない場合は以下URLへアクセスしてください。

<https://japan-ave.com/gt85>



iOS



Android

主な機能

- リアルタイム同期表示(全画面表示対応)
- ドライブレコーダー各種機能の遠隔設定 ※アプリ機能は随時拡張予定です
- 動画&画像の視聴

ドライブレコーダー本体との接続方法

1. ドライブレコーダー本体のメニューに入り、本体WiFi設定をオンにしてください。
2. 「GT85」から始まる接続名が表示されるので、選択してWiFi接続してください。
(ドライブレコーダー本体とWiFi接続すると、スマホのモバイルデータ通信は使用できなくなりますのでご注意ください)
3. パスワードが求められたら、初期パスワード「12345678」を入力してください。
4. ドラレコ本体との接続が確認できたら、アプリ画面に戻ってください。Wi-Fi接続がされていれば、自動的にドライブレコーダー画面がリアルタイムに表示されるようになります。

(初期WiFi接続パスワード:12345678)

SD フォルダの見方について

録画されたSDカード内のデータ(画像または動画)の見方についてご紹介します。ドラレコで録画したデータは下記のファイル名で自動的にフォルダが作成され、データが保存されます。



Event



Normal



Parking

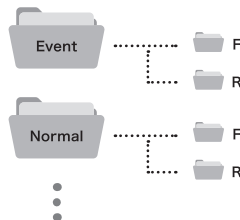


Photo

フォルダー一覧

- Event(緊急録画)
- Normal(通常録画)
- Parking(駐車時録画)

※ファイルごとにフロントカメラF(Front)とリアカメラR(Rear)に分かれています。



よくある質問

デバイスに問題が生じた場合、以下の方法を試してください。

1. 録画、写真撮影できない

SDカードの残量を確認してください。SDカードが破損になっていないかを確認してください。

ロックをかけているかを確認してください

2. 録画が勝手に停止する

HDビデオファイルの容量が大きいため、必ずC10以上のSDカードを使用してください。

3. 映像を再生中にファイルエラー

映像をSDカードに保存不完全時に発生します。再度SDカードを初期化してください。

4. 映像が不鮮明

撮影前にレンズに指紋などが付いてるか確認してください。レンズを拭いてから撮影してください。

5. 空や水など場所のシーンで撮影した映像が暗い

設定メニュー中のEVを調節してみてください。

6. 曇りや室内撮影時に映像のカラーがよくない

ホワイトバランス設定は自動になっているか確認してください。

7. 映像に水平線が干渉する

光源周波数(50Hz/60Hz)を正しく設定しているか確認してください。

8. 機械クラッシュ

リセットボタンでドライブレコーダーを再起動してください。

免責事項

ドライブレコーダーは、走行中の画像・動画を撮影するためのレコーダー端末であり、撮影されたデータは万一の事故やトラブルのための参考情報としてお使いいただけます。

ただし、以下の状況においては撮影ファイルが破損または紛失することがあります。本製品使用に関して、撮影データが破損または紛失したことによる、いかなる損害も弊社では一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

1. 録画中にmicroSDカードを抜いた場合
2. メーカーにより推奨されていないmicroSDカードを使用した場合
3. DIYまたはカーショップなど通常配線以外の配線を行った場合
4. 衝突事故等によって、製品本体にも衝撃が加わり、製品内部のデータが破損した場合
5. 本製品に搭載される録画機能が何らかのエラーにより正しく動作しなかった場合